

労働力調査における「20～69 歳」の年齢区分の追加について

労働力調査では、雇用情勢のよりの確な把握に資するため、平成 31 年（2019 年）1 月分（3 月 1 日公表予定）からの公表冊子等において、我が国の労働力の中核となっている「20～69 歳」における労働力人口比率や就業率等の掲載を開始します。

1 労働力の中核となっている「20～69 歳」の年齢区分の追加

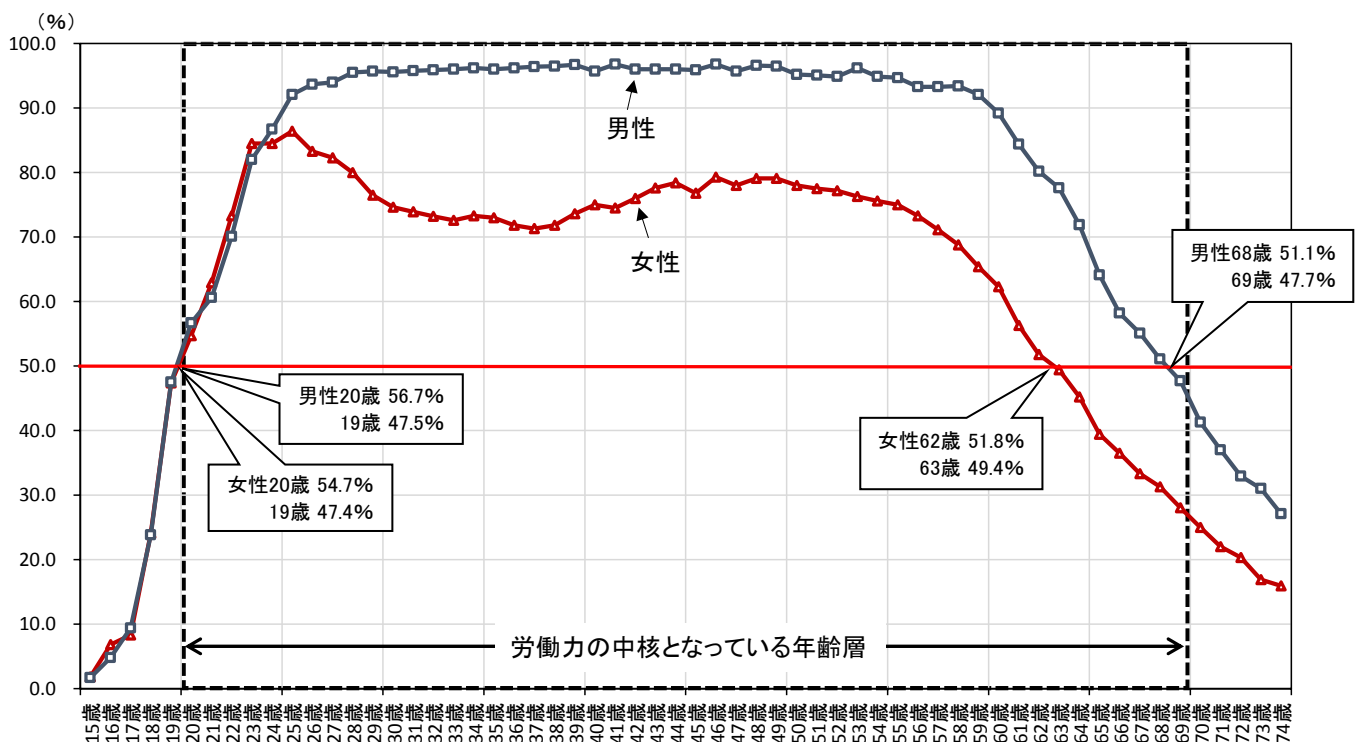
労働力人口比率を各歳別にみると（2014～2018 年平均）、男女共に、20 歳で 50%の水準を超え、男性では、69 歳でも 47.7%と 50%に近い水準にあります。

このように、おおむね過半数の人が労働力となっている年齢層を含む、20 歳から 69 歳までが、現在の我が国の労働力の中核を担っている年齢層といえます。

そこで、従前から掲載している「15～64 歳」の年齢区分に加えて、「20～69 歳」の区分を公表冊子等に追加し、当該区分における労働力人口比率や就業率等を掲載することとします。

これにより、雇用情勢をよりの確に把握することが可能となると考えられます。

図 年齢各歳別労働力人口比率（2014～2018 年平均）



## 2 「20～69 歳」の年齢区分を追加する集計事項

毎月公表している速報冊子において、2019 年 1 月分から、以下の集計事項について「20～69 歳」の年齢区分の集計値を掲載します。

また、同じ集計事項について、HP に掲載している「長期時系列データ」※<sup>1</sup>においても、2019 年 1 月分結果公表時に「20～69 歳」の年齢区分を追加しますので、時系列比較が可能な 1968 年からの動向（月次・年次）をみる事が可能となります。

※1 URL：<https://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html>

### < 「20～69 歳」の年齢区分を追加する集計事項 >

- ①15 歳以上人口 ②労働力人口 ③就業者数 ④完全失業者数
- ⑤非労働力人口 ⑥労働力人口比率 ⑦就業率 ⑧完全失業率

### 【参考】

「20～69 歳」の年齢区分の追加については、HP に掲載している<統計 Today No.139>「労働力調査における年齢区分の追加 ―これからの経済活動を支えるコアな年齢層―」※<sup>2</sup>も併せて御参照ください。

※2 URL：<https://www.stat.go.jp/info/today/139.html>